

# 目次

序	.....	亀井源太郎	v
現代中国における地方統治体制			
——大区制度を通じた統治の展開——	.....	磯部 靖	一
日本法理研究会への道			
——思想犯保護と「法道一如」——	.....	出口雄一	三
「あるべきもの ce qui doit être」の学から「有用性 utile」の学へ： フランス中間法時代のサヴォワワにおける法教育の実相			
——アンテルム・マランの講義筆記をめぐって——	.....	藪本将典	六五
戦時下における丸山義二の農民文学に見える法律問題	.....	頼松瑞生	一〇九

「No Lombroso 委員会」について	清水裕樹	一三三
新律綱領における八虐六議と賊盜律謀反大逆条の削除について	兒玉圭司	一六一
夫婦創姓制度という選択肢	吉田成利	一八七
内密出産と「出自を知る権利」をめぐる現状と課題		
—— 韓国の「危機的妊娠保護出産法」を手がかりに ——	田中佑季	二二三
日本統治下の台湾における法文上から見たる妾の法的位置づけ	西田真之	二四五
刑事附帯民事から見る律の民刑	高田久実	二七七
慶應義塾の法律相談所		
—— 戦前期法律鑑定部の創設と展開 ——	加藤学陽	三三七



岩谷十郎教授略歴・主要業績

.....